

## 2020年度第1回阿波おどり実行委員会議事録

開催日時 令和2年4月27日（月曜日）午後3時～

開催場所 徳島市役所13階 大会議室

出席者 実行委員会委員6名 運営協議会委員2名 事務局3名 事業体4名（内2名スカイプにて参加） 秋田町踊りロード事務局2名

### 1 開 会

### 2 委員交代報告及び出席者紹介

### 3 役員選出

#### 【A 委員】

本日は委員長、副委員長の選出から行いたいと思う。実行委員会会則第4条第2項で委員長は委員の中から互選によって定めることとされているが、次の実行委員会委員長に推薦はあるか。

#### 【B 委員】

現在コロナ対策についてマスコミ等で非常に騒がしい状況である。そのニュースを見て、情報発信力というのは非常に大切であると感じている。同じ内容のことであったとしても情報発信力のある方や知名度のある方が情報発信するのとそうでない方が発信するのではマスコミの扱い方が違う。委員の中から委員長を決めるということだが、情報発信力という面から考えると全国最年少の女性市長ということで今回当選されたF委員が相応しいのではないか。自ら実行委員会委員長になるということも選挙公約で掲げられており、今回の選挙は非常に接戦ではあったが、有権者から信任を受けたと言えるのではないか。また、事務局についても徳島市で持っていただいているので、事務局との連携が非常にしやすい立場にあると思っている。そういった理由によりF委員を推薦したい。

#### 【C 委員】

F委員が委員長に就任されることは結構なことだと思うが、昨年度に設置された有識者会議から行政の関わりという項目の中で実行委員会の委員長は民間団体から選出すべきというような意見もあったということも十分に認識していただいた上で実行委員長として務めていただきたいということで賛成したいと思う。

#### 【D 委員】

実行委員会の事をよくご存じの方でいうと3年前から委員をされている A 委員に委員長を受けていただくのがいいのではないかと思います。

**【E 委員】**

先ほど B 委員からも意見があったように F 委員にお願いするのがいいのではないかと。

**【A 委員】**

3名の委員から F 委員に推薦があったので、委員長を受けていただけるかどうか F 委員からも一言いただきたい。

**【F 委員】**

選挙公約にもあったように自分自身が実行委員長に就任したいと考えている。民間団体から委員長を選任するという意見があったことも留意し、B 委員からあった意見のように情報発信力や行政との連携をきちんと行っていきたいと考えているので、実行委員長に就任することを了承いただきたい。

**【A 委員】**

F 委員に3名の委員から推薦されており、D 委員は私を推薦いただいているが、このことについてはどうか。

**【D 委員】**

結構である。

**【A 委員】**

それでは F 委員を委員長に指名することで異議がなければ拍手で承認をお願いしたい。  
(一同拍手)

それでは F 委員から委員長として改めて挨拶いただきたい。

**【委員長】**

選挙公約で実行委員長になるということを掲げて、民意を含めて賛同いただけたと思っている。民間団体からという意見にも留意しながら頑張りたい。今までの経緯を知っている A 委員含め他の委員と一緒に今年の阿波おどりは開催しないことになったが、その代替案も含めてみんなで一緒に考えていきたいと思っているので、今後の運営についてもお願いしたい。

**【A 委員】**

これよりの進行は委員長にお任せしたい。

**【委員長】**

会則の第4条第3項の規定により、副委員長は委員長が指名するとされているので、引き続き A 委員に副委員長をお願いしたいと思うがどうか。

(異議なし)

それでは A 委員長から一言挨拶をいただきたい。

**【A 委員】**

2020阿波おどりは中止となったが、これからできることはたくさんあると思う。実

行委員会だけでなく、阿波おどりに関わる全ての人がこの状況の中で阿波おどりをどのようにしていくのかということを考え、みんな一緒に前に進む。そして委員長掲げる、前に進む推進力の一助となれるよう副委員長としてしっかりと責任を持ち職務に全うしていきたい。

#### 4 議題 ① 2019阿波おどり事業・決算報告について

##### 【委員長】

実行委員会としての決算報告もあるが、主には共同事業体と実行委員会の契約において事業体が行った事業及び決算について実行委員会の承認を受けなければならないとされているので、それぞれ報告いただきたい。

##### 【事業体】

資料1 2019阿波おどり事業報告書

資料2 2019阿波おどり事業決算報告書

上記資料について説明。

##### 【事務局】

資料3 2019阿波おどり実行委員会決算報告書について説明。

##### 【C委員】

資料1の事業報告書のチケット販売について、7月1日以降の一般販売は伸び悩んだという記載があるが、原因については分析しているのか。

##### 【事業体】

販売状況としては毎週ごとに週伸びしている状況であったと考えており、伸び悩んでいたという認識は持っていなかった。事業初年度ということで有効的な販売を模索中ということもあり、明確な宣伝進行の把握ができていなかったということが、問われておることに関係しているかもしれない。

##### 【C委員】

原因を分析していただき、今年度は開催しないが来年度の阿波おどりに活かしていただきたいと思う。

##### 【A委員】

資料2の決算報告書について、前年度の阿波おどりは2日間中止だったが、当初予算と決算の支出額がほとんど同じである。そのことについては仕方なかったという認識であったのか。そもそもの契約ということで支払われたのか。

##### 【事業体】

支出に関して、2日間中止でバスや警備などの運営部分で減額される部分もあるが、棧敷などにかかる経費はほぼ同額という金額になっている。

棧敷などを早く撤収しようと色々行った追加分の費用が逆に増えなかったということで認識していただきたい。

**【E 委員】**

資料1の事業報告書について、2019阿波おどりで新たな取り組みとして対面販売所やリストバンド型チケット販売などの取り組みをされているが、観光客の利便性向上に繋がった取り組みがあれば具体的に教えてもらいたい。

**【事業体】**

観光客の利便性について、事業体としての運営は4月からのスタートということで非常にタイトな中で何か新しい取り組みをとということで進めてきた。その中で効果的であったと考えているのが対面販売所の設置である。スマートフォンやインターネットで購入いただけない方に対して、丁寧な案内ができたのではないかと考えている。また少しではあったが阿波おどりチケット購入者への優待特典サービスとして県内の観光施設への案内をさせていただき、実際に利用もあった。ただ、これについても周知する期間が短かったこともあり、それほど多くの利用はなかった。次年度以降はさらに拡大をし、市内の飲食店などにも優待特典の提供を考えている。

また、リストバンド型チケットの販売についても、さらに精査を図り次年度以降に向けてサービスの拡充を図っていきたいと考えている。

**【E 委員】**

初年度ということでなかなか効果が出てないことがあるとすれば、しっかりと改善して、次の開催に向けて取り組んでいただきたい。

**【委員長】**

8月12日が振替休日だったこともあるが、人出38万人というのはとてもいい数字だと思う。この38万人を叩き出せた要因を分析されているのであれば伺いたい。

**【事業体】**

この38万人というのは何か工夫した結果ではないと分析している。台風15号が近づいている中でこの2日間に集中し、特に12日が休日ということもあり、この日に集中したのではないかと考えている。

**【委員長】**

その他に意見等なければ、これらの報告書について承認してもよいか。  
(異議なし)

5 議題② 2020阿波おどりについて

**【事務局】**

資料4 2020阿波おどりについて説明。

**【事業体】**

資料5 2020阿波おどりの開催準備費について説明。

**【委員長】**

報告いただいたとおり、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大が終息しない中、委

員の皆様にも中止やむなしという苦渋の決断をいただいた状況である。また2月からは団体チケットの販売を開始するなど、すでに2020阿波おどりの開催に向けた準備が進められている。契約の規定により今回の新型コロナウイルス感染症による影響は不可抗力よるものとして取り扱うこととしている。そのため固定納付金の免除と準備費用の分担について共同事業体より協議の依頼があった。このことについて意見を伺いたい。

**【D 委員】**

当然経費がかかっているので協議していかなければいけない。協議は事務局に任せることとして、補償はしなければならないのではないかな。

**【A 委員】**

この決算見込書の経費を全額負担するのかどうかという問題がある。事務局で内容を確認していただき実行委員会で協議するという形がいいのではないかな。

**【委員長】**

今回の事態は契約の規定上も協議の対象となることから実行委員会として負担すべき部分はあると思う。ただ、皆様の意見を伺っていると適正な負担額については様々な意見があると思うので、本日の意見を踏まえ、まずは事務局と事業体とで協議いただき最終的に実行委員会で判断することでもいいのではないかな。その場合に市として負担することが必要になると考えており、市として負担する場合は無料演舞場やシャトルバスの運営支援以外は市議会から認められているわけではないため、市議会の了解も必要となる。実行委員会での決定事項を踏まえ議会でもしっかり説明をさせていただく中で了解を取っていきたいと考えているので、まずは事務局と事業体と協議いただくということでよいか。  
(異議なし)

6 その他

**【委員長】**

予定していた議題は全て終了したが、運営協議会及び秋田町おどりロード事務局より本日出席いただいているので、それぞれ意見を伺いたいと思う。

**【運営協議会副会長】**

今回の新型コロナウイルス感染症についてはどうしようもない事だと思っている。東新町を新しく踊りロードとして利用していただけるということで非常に楽しみにしていたが、このような状況になってしまった。もちろん来年は同じような内容で利用いただけるようお願いしたい。

話が少し逸れるが、天皇陛下の即位の時に阿波踊りを踊ったという話を聞いたが、それが徳島の踊り連が踊らずに高円寺の踊り連が踊ったと聞いた。これは徳島の人たちはどう判断されるのか。非常に恥ずかしいことではないか、阿波おどりと言えば徳島ではないのか。またワールドカップでも高円寺の踊り連が踊ったと聞いている。こういったことをみんなで考えていければと思う。

**【秋田町おどりロード事務局代表】**

私は平成元年から繁華街で飲食店を経営しているが、今回のコロナウイルス感染症で来年阿波おどりを開催するときにはお店がなくなっているかもしれないという状況になっている。阿波おどりの存続も重要だが、町自体が賑やかなところで踊ることが大切だと思う。

話が少し逸れるが、秋田町の通りは少し特別な通りだと思っており、週末だけでも歩行者天国にしていただきたい。特に土曜日の18時から21時の3時間だけでも歩行者天国するのはどうかと考えている。今回阿波おどりが踊れなかった人たちもフラストレーションが溜まっていると思う。そこで踊っていただけるかは別として、町の店の人たちのモチベーションを上げるためにも起爆剤が必要だと思っている。来年も皆様が元気で阿波おどりが開催されることを願っている

**【委員長】**

町を元気にしたいという思いはここにいる皆様同じ思いだと思うので、その辺りについても協議していきたいと思う。

事業体からも今後について意見があれば伺いたい。

**【事業体】**

今年の阿波おどり中止はとても残念ではあるが、この時間を有効に使いながら来年に向かって何か新たな取り組みや強化策を講じることができるよう努力していきたい。

**【委員長】**

今年の阿波おどりが中止になったことで、翌年の阿波おどりに向けてまた今年の阿波おどりの代替案を含めて、皆様と協議を続けていきたい。次の阿波おどりは今までにないようなみんなわくわくするような阿波おどりを世界に向けて発信していきたい。

以上を持って2020年度第1回阿波おどり実行委員会を終了とする。